

日誌

日誌 06月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	機械
		受付
	10:00	受付
		服薬指導
	11:00	薬歴
		OTC
	12:00	受付
		休憩
	13:00	休憩
		薬歴
	14:00	薬歴
		薬歴
	15:00	調剤
		服薬指導
	16:00	薬歴
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

調剤の機械化についての話を聞いた。ピッキングや水剤、混注の機械があり、値段が高いことを教えていただいた。機械化が進むにつれて、対物から対人へ進んでいき、服薬指導がメインになっている。服薬指導を経験する大切さを実感した。

大腸全摘をした患者さん関連で、オストメイトマークについて教えていただいた。オストメイトマークとは、人工肛門や人工膀胱を造設してる方を示すマークである。人工肛門や人工膀胱のことをストーマという。オストメイトに対応したトイレがあることを教えていただいた。

OTCについては、腰の痛みを訴える患者さんの対応をした。タイレノールやリソールアイビーを紹介した。高齢だったので、タイレノールの方が良かったが、値段が高く、錠数も多かった。患者さんは値段が高いことに納得してくださり、また、この患者さんはテープ剤が過去に処方されていたため、今回は購入しなかった。

風邪で処方された患者さんの服薬指導を担当した。風邪の患者さんの担当をする際には、薬剤師の方に教えていただいた「カフェイン取ってますか」を質問すると決めていたので、実践できて良かった。

セルフメディケーションをお家で実施した患者さんの服薬指導を担当した。外に出ている姿を見れて安心した。この患者さんは、過去にハーボニーを使用していた。ハーボニーはC型肝炎の治療薬である。過去に、ハーボニーの偽造品が流通した事件があった。これにより、薬機法が改訂されたことを教えていただいた。

高齢者の安全な薬物治療ガイドラインや薬剤耐性（AMR）について教えていただいた。

日誌

日誌 06月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月09日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>風邪の患者さんの薬歴を見て、風邪なのか喘息なのかわからなかった。指導薬剤師の方に風邪ですかと聞いてみたが、患者さんに直接聞いてみてもよかったかもしれない。薬歴を確認するとブデホルが過去に処方されていたことを教えていただいたので、そこから喘息か推測することもできる。ブデホルがどのような薬かすぐに出てこなかったので、添付文書を確認しておく。</p> <p>患者さんにこのような薬を探していると相談されても、お勧めできるOTCが全くわからない。花粉症でもなく、風邪を引いたら病院を受診する人生だったので、自分自身ほとんどOTCを使ったことがない。今日のOTC対応で、OTCについて勉強をしたい強く感じた。受付担当の際の空いてる時間に、どのようなOTCがあるのか見ておきたい。</p> <p>心臓系の薬が苦手だったが、それよりも胃系の薬の方がよくわからないと実感してきた。よくレバミピドが処方されているが、なぜ処方されているのか読み取ることができない。胃粘膜を保護するのは理解しているが、なぜ保護する必要があるのか不明である。胃の粘膜が荒れてるようなイメージはあるが、病態との結びつきがよくわかっていない。講義資料も見直してみたが、あまり理解できなかったなので、教えて欲しいです。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>>カフェイン取ってますか あ、言いそびれていたことが。。。 『カフェイン取ってますか？』 →『コーヒー取ってますか？』『エナジードリンク飲みますか？』『濃い目のお茶好きですか？』 さあ、使い分けてみましょうね。</p> <p>>病態との結びつき とても良い考え方ですね。 概念的にはまずそこからなのですが、、、もう一つ、副作用予防というのはどうでしょうか？ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月10日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 06月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月10日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.7 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	服薬指導
		服薬指導
	11:00	服薬指導
		薬歴
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	処方解析
		処方解析
	14:00	薬歴
		薬歴
	15:00	調剤
		服薬指導
	16:00	服薬指導
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 06月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

テラムロAPが処方された患者さんの服薬指導を担当した。血圧ノートを記録してくれている方だった。前回別の患者さんで血圧ノートを持参していたが確認しようとしなかったのが、今回はその反省を活かし、ノートを借りて記録を確認した。また、継続的に服用していた薬だったので、副作用の症状が出ていないか質問した。

ピタバスタチンが処方された患者さんの服薬指導を担当した。引き続き、同様の薬が処方されていたので、薬の説明より様々な会話をした。

在宅で訪問している患者さんが来店されたので、その患者さんの服薬指導を実施した。訪問する時より、多くのお話できた。

エサンブトール、ジスロマック、グレースビットの処方解析を行った。肺MAC症の患者さんで、緑膿菌もあるそうだった。グレースビットが緑膿菌にも効果があるのか調べた。指導薬剤師の方が見つけてくださり、緑膿菌にも効果があることを確認した。「エサンブトールを服用中の患者さんへ」という紙を見させていただいた。その紙の文字が小さく、読みづらかった。エサンブトールの副作用で、物が見えない、物が見えにくい、視力低下などの視力障害がある。副作用の症状が出ていないか確認できるように、小さく書かれているのではないかと。その紙には、「片目ずつ交互に」と記載されているので、片目がポイントであった。

小児在宅の調剤を行った。ラメルテオンの粉碎をし、分包した。粉碎をした際に、フィルムコーティングを確認することができた。1剤の分包を行ったが、1剤だけでもかなり大変だった。

副作用を3つに分類できることを教えていただいた。薬に対するアレルギーが原因のもの、薬の作用機序によるもの、薬の長期的な使用によるものの3つである。

日誌

日誌 06月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月11日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>テラムロの添付文書を確認すると、テルミサルタンの半減期は約20時間、アムロジピンの半減期は約40時間だった。患者さんが血圧を測るタイミングについて、薬剤師の視点で考えると、薬の効果がきちんとあるかを確認できるタイミングだと考えた。朝食後服用の場合、朝の薬を服用する前に血圧を測定するのではないかな。夜にも血圧を測っていく。これを毎日繰り返していくことで、血圧手帳を見た際に血圧が上がっていないか確認できるのではないだろうか。</p> <p>ピタバスタチンが処方されていた患者さんに、コレステロール値について確認しようと思った。この患者さんのペースにのまれてしまい、質問するのを忘れ、会話が夢中になってしまった。患者さんにのまれすぎず、質問していきたい。</p> <p>テラムロ、エサンプトール、ジスロマック、グレースビット、エチゾラム、デュロキセチンについて、添付文書と患者向け医薬品ガイド、今日の治療薬から確認しておく。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>>血圧が上がっていないか確認 良いですね。いろいろ考えてくれたみたいですね。ありがとうございます。 薬のモニタリングを考える際には2面を見る必要がありますね。effectとsafety。 今回考えてくれたのはおそらくeffectだと思います。一方で、safetyを考えるためには血圧を測るタイミングはどうなりますか？ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.0 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	調剤
		調剤
	14:00	勉強会
		調剤
	15:00	調剤
		調剤
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

アルファカルシドールとエピナスチンの処方監査を行った。処方内容は、アルファカルシドールが60日分、エピナスチンが30日分であった。処方日数が異なる場合には、なぜ日数が異なっているのかを確認する必要がある。医師の記載ミスである可能性もあれば、明確な理由がある場合もあるためである。確認手段の一つとして、お薬手帳が挙げられる。お薬手帳を確認し、過去に同様の処方内容が継続していることが分かれば、今回の処方が継続処方であると判断できる。今回の患者さんの場合、エピナスチンは花粉症に対して使用されていた。現在は花粉症の症状が落ち着いており、症状がない時には服用の必要がない。余った薬は来年の春にも使用可能であること、また次回の受診時には処方から削除してもらうよう医師に相談するよう、薬剤師の方から患者さんに説明したことを教えていただいた。

バルプロ酸Na徐放顆粒40%の処方だった。1日量は400mg、処方日数は42日分であったため、 $400\text{mg} \div 400\text{mg/g} \times 42\text{日} = 42\text{g}$ を量り、分包を行った。

トラクリアの勉強会に参加した。

برانلカستDS10%とセチリジン錠10mgの処方箋だった。برانلカستDS10%の1日量が180mg、処方日数が56日分であり、 $180\text{mg} \div 100\text{mg/g} \times 56 = 100.8\text{g}$ となった。セチリジン錠10mgについては、セチリジン塩酸塩DS1.25%に変更するよう記載があったため、 $10\text{mg} \div 12.5\text{mg/g} \times 56\text{日} = 44.8\text{g}$ となった。しかし、在庫や分包機の設定の都合により、最終的には46日分の調剤を行った。その結果、برانلカستDS10%は82.8g、セチリジン塩酸塩DS1.25%は、36.8gをそれぞれ量り、分包した。

オーソライズド・ジェネリック（AG）とは、先発医薬品メーカーから許諾を得て、後発医薬品メーカーが製造・販売するジェネリック医薬品である。原薬、添加物、製法、製造工場などが先発医薬品と同一であることが多く、品質や有効性において先発品と同等と考えられている。

日誌

日誌 06月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月12日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>処方監査を行う際に、1回○錠について重点を置いていたが、処方日数についてあまり意識していなかった。例えば、処方日数が急に増減している場合や、複数の薬で処方日数が異なっている処方箋においては、なぜこのような処方になっているのかという理由を把握することが重要であるため、確認したうえで調剤を行うよう心がけたい。</p> <p>本日、インチュニブ錠が処方されていた。添付文書を調べたところ、適応症は注意欠陥／多動性障害（AD/HD）であることが分かった。もう少し添付文書を確認したい。</p> <p>本日調剤を行った中で、インチュニブ錠、チラーゼン錠、スーグラ錠について、即座にどのような薬かを思い出すことができなかった。これらの薬については、添付文書・患者向け医薬品ガイド（該当があれば）、および今日の治療薬より、確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>>お薬手帳を確認し 良いですね～。何気なく確認していたのが印象的です。 これ、だんだんとポイントや何が大切になるのかの概念的な理解が進んでいるということなんだと思います。 とても大切。</p> <p>インチュニブについては触れられなかったですね。せっかくなので、練習としてどんなことに注意をすると良い薬か？（safety）何を見たら指標となりうるのか？（effect）でモニタリング項目を考えてみませんか？ちょっと面白いですよ。 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.1 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	情報共有
		情報共有
	10:00	OTC
		OTC
	11:00	受付
		会話
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	概略評価
		概略評価
	14:00	服薬指導
		薬歴
	15:00	薬歴
		調剤
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 06月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

「セルフエフィカシー（自己効力感）」について学ぶ機会があった。セルフエフィカシーとは、ある行動をうまく行うことができるという自信のことであり、患者さんの治療への積極性を引き出す重要な概念である。小児の患者さんで、薬を服用したくないという気持ちがあった。その子は最近サッカーを始めたそうで、後半になると息が上がってくるらしい。ご両親が飲みなさいというのではなく、サッカーのプレイ中に息切れしていたのが、疲れにくくなったと実感できることで、自発的に薬を飲むようになるようになっていくだろう。このような考え方を教えていただいた。

OTC対応においては、「鉄を摂りたい」と訴える患者さんの対応を見学した。患者さんは「医者に鉄分を摂れと言われた」と話していた。鉄分が足りないということは貧血気味と推測される。なぜ貧血を訴えているのかという背景を考えることが大切であると教えていただいた。貧血の原因には、腎性貧血、鉄欠乏性貧血、外傷、胃潰瘍などが挙げられる。

服薬指導では、皮膚科を受診された患者さんを担当した。ポビドンヨード外用液10%、ポピヨドンゲル10%、パスタロンソフト軟膏10%が処方されていた。外用剤は医師がどのような治療方針を考え、処方されたのかを把握するために、患者さんに聞き出すことが必要であると学んだ。また、この患者さんは、「在宅酸素療法（HOT）」を行っている方だった。HOTとは、血液中の酸素が不足している方が、自宅など病院以外の場所で不足している酸素を吸入する治療法のことであり、酸素ボンベを用いて自宅や外出先で酸素吸入を行う。この患者さんはリハビリのため散歩をしており、酸素ボンベを持って歩いている姿をよく見かける方であった。今回皮膚科を受診した部位は足の爪であった。皮膚の観点からは、散歩を控えるべき状況と考えられる。一方で、HOTの観点からは散歩を継続した方が良く考えられる。散歩の頻度をこれ以上増やさないようにしたり、爪の状態が落ち着くまでは散歩の頻度を落としたりという方法が提案できると教えていただいた。

炎症の4徴候とは、発赤、腫脹、熱感、疼痛のことである。これらの症状を抑えるために、ステロイドが使用されている。

日誌

日誌 06月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月13日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>OTC対応については、知識不足だと実感しました。患者さんに「どのような商品をお探しですか」と尋ねて、希望をある程度聞き出すことはできましたが、その後どの商品を提案すべきか、どのような選択肢があるか、判断できませんでした。また、日用品についても、家事を行わなすぎてわかっていません。受付の時間で空いている時間を活用し、どのような商品があるのか把握していきたいと思いました。比較して違いがわからなかった場合には、質問していきたいと考えています。</p> <p>外用剤の服薬指導についても、あまり経験がなかったことから、難しさを感じた。どのような目的で使用するのかだけでなく、具体的な使用方法も把握したうえで、説明する必要があると感じました。</p> <p>ポビドンヨード外用液10%、ポピヨドンゲル10%、パスタロンソフト軟膏10%について、添付文書、患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>>サッカーを始めた 翌日お母さんが来て、さっそく伝えたらすごいやる気になって自分からやるようになってます！ってご連絡いただきました。 上手くってラッキーでした。</p> <p>>OTC対応については、知識不足だと実感しました。 いや、たぶん、『知っている』けど、うまくつながってないんだと思いますよ。これも、知識の段階と同じで『想起』→『解釈』→『問題解決』で、問題解決に相当します。だからこそ難しく感じますが、とても面白いと思いますよ！ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.3 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月14日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 06月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月14日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月15日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月15日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 06月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月15日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	